

The Bula Times

ブラ・タイムズ フィジー

Bula (ブラ) はフィジー語で「はじめまして」、「こんにちは」の意味

2025年（令和7年）

3月11日（火）

フィジー海外協力隊通信第2号

発効日：2025年（令和7年）2月25日

発行者：赤田 慎太郎

岡山より支援物資到着 シンガトカ病院に寄付される



支援物資に感謝する病院職員

昨年12月下旬に岡山県庁からフィジーへ発送されていた支援物資が私の活動先であるシンガトカ病院に到着しました。昨年の6月より岡山県庁とやり取りを開始しついに受領することができました。フィジーの病院で医療、患者環境を改善する活動を行っていますが、整理するには小物を収納する箱や本立てが必要でした。フィジーでも販売されていますが高価であり、サイズも適切な物を見つけるのが困難でしたので、岡山県庁にそれらの物品支援を依頼させていただきました。岡山県庁より岡山県民の皆様にご寄付を募っていただき、下部写真の収納箱と本立てを寄付していただきました。これらの支援物品は病院環境整理のために活用させていただきます。

岡山県民の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。病院関係者からも岡山県民の皆様にお礼の言葉が届いています。シンガトカ病院エリザベス院長代理からは「岡山県民の皆様からの思いある行動に心から感謝しています」とその感謝の意を本文左下の手紙にしたためています。皆様から頂いた物品を大切に活用し、職員一同となりシンガトカ病院の医療環境改善に努めてまいります。



MINISTRY OF HEALTH AND MEDICAL SERVICES

Reference:
Sigatoka Hospital
Nadroga Navosa
FIJI

Date: 29th January, 2024
Phone:

Greetings from the Fiji Islands

On behalf of Sigatoka Hospital, I am writing to express our sincere gratitude to the People of Okayama Province for the very kind and generous donation of 55 items to our health facility.

This has helped our JICA SS/Quality Management volunteer, Mr. Shintaro and the hospital team, to better our 5s activities, improving hospital work spaces and patient care and comfort.

We are truly grateful for this thoughtful gesture and send the Province our best wishes.

Thank you very much.



Dr. Elizabeth Dass

Acting Sub Divisional Medical Officer
Nadroga Navosa



病院長代理からの感謝の手紙



寄付いただいた収納箱と本立て

シンガトカの街

私の生活している街はシンガトカです。フィジーのメインとなる島であるビチレブ島の南にある人口17,600人(2017年シンガトカ・タウン・カウンスル調べ)の小さな街です。シンガトカはフィジーの首都であるスバとフィジー観光の拠点であるナンディの中間地点に位置し、交通の要所となっています。

街の南に広がる海岸はコーラル・コースト(サンゴの海岸)と呼ばれており、多くのビーチ・リゾートが立ち並び、観光客が訪れるエリアです。そして海岸を西へ進むとフィジー初の国立公園に選定されたシンガトカ大砂丘があります。壮大な砂丘と美しい砂紋が楽しめるシンガトカ観光で外せない場所です。

シンガトカはフィジー最大の野菜生産地帯であるため「フィジーのサラダボール」と呼ばれています。



コーラル・コーストのビーチ



シンガトカ・タウン中心部

JICA海外協力隊の生活

JICA海外協力隊隊員としての日々の生活を簡単に紹介します。

- 06:00 起床後、活動場所へ行く準備
- 07:40 通勤(大家さんが車送ってくれる)
- 08:00 活動開始(病院就業開始時間)
- 10:00 お茶タイム(フィジーの人はお茶の時間が大好きです)
- 13:00 昼食(日本と比較すると少し遅めのランチです)
- 16:30 活動終了
- 16:45 通勤(帰りはローカルバス/約15分)
- 17:00 帰宅、夕食準備
- 18:00 入浴(湯舟はないので、シャワーを浴びます)
- 19:00 夕食
- 19:30 自由時間
- 23:00 就寝

ブラ・タイムス第3号ではJICA海外協力隊としての活動内容の報告や、シンガトカの観光案内などを紹介させていただきます。お目通しいただきありがとうございます。Vinaka/ヴィナカ(フィジー語でありがとうございます)。

シンガトカ病院

私が活動している場所はシンガトカ病院で、フィジーの健康医療サービス省が管轄する国立病院です。シンガトカ病院はナトロンガ/ナヴォサ地区の基幹病院であり、その地域内の健康管理センターやナーシングステーション(医師の在中がない診療施設)の管理も行っています。16名の医師、50名の看護師が勤務しています(2025年2月25日現在)。診療科は救急外来、内科外来、特殊外来(小児科、糖尿病科など)、歯科があり、病棟は男性病棟、女性病棟、小児病棟、産科病棟の4病棟があり、合計75床のベッドを有しています。

フィジー国民は基本的に無料で国立病院の診察や治療、入院加療を受けることができます(例外もあり)。私はこちらのシンガトカ病院で5S-KAIZEN-TQMアプローチを利用し病院の医療、患者サービス環境の向上させる活動を行っています。



シンガトカ病院